

JILPT 調査シリーズ
No.125
2014年5月

裁量労働制等の労働時間制度に関する調査結果 労働者調査結果

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



裁量労働制等の労働時間制度に関する調査結果 労働者調査結果

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

本調査は、裁量労働制をはじめ労働時間に関する実情を把握するため、労働者に対するアンケート調査を実施したものである。

本調査結果が、各方面における政策議論に貢献することができれば幸いである。

2014年5月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

理事長 菅野和夫

執筆担当者

氏名	所属	執筆担当（初出順）
池添 弘邦 いけぞえ ひろくに	労働政策研究・研修機構主任研究員	第1章、付属資料
藤本 隆史 ふじもと たかし	労働政策研究・研修機構アシスタントフェロー	第2章、付属資料
高見 具広 たかみ ともひろ	労働政策研究・研修機構研究員	第3章、第4章、付属資料

調査研究メンバー（五十音順）

池添 弘邦 労働政策研究・研修機構主任研究員
小倉 一哉 早稲田大学商学学術院准教授
高見 具広 労働政策研究・研修機構研究員
藤本 隆史 労働政策研究・研修機構アシスタントフェロー

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査名	1
2. 調査の趣旨	1
3. 調査の方法	1
4. 本書の構成	2
第2章 全体の傾向	4
1. 回答者の属性	4
2. 労働時間制度の傾向	7
3. 労働時間の傾向	8
4. 働き方の傾向	9
第3章 適用労働時間制度別の状況	12
1. 所定労働時間、実労働時間	12
2. 働き方の傾向	13
3. 今後の労働時間管理に対する要望	16
4. フレックスタイム制についての意見	18
第4章 裁量労働制	20
1. 裁量労働制適用労働者の属性	20
2. 裁量労働制適用労働者の働き方	21
3. 仕事の性質	23
4. 日々の出退勤	24
5. 業務遂行	26
6. 仕事による家庭生活・健康への影響	29
7. 健康・福祉確保措置	30
8. 苦情処理体制	32
9. 裁量労働制適用者となった理由と期待実現度	33
10. 裁量労働制適用の満足度	34
11. 対象業務の範囲について	35
12. 今後の裁量労働制について	38

<付属資料>

1. 単純集計結果（厚労省抽出分）	43
2. 基本クロス集計結果（厚労省抽出分）	55
3. 単純集計結果（事業所データベース抽出分）	155
4. 基本クロス集計結果（事業所データベース抽出分）	167
5. アンケート調査票（労働者用調査票）	267